

jus研究会大阪大会



#UNIX歴史講座 #kof2018

本日の講師



法林 浩之



砂原 秀樹



齊藤 明紀

全員jus元会長

日本UNIXユーザ会 (jus)



[ホーム](#) [About jus](#) [入会/更新案内](#) [イベント情報](#) [運用研究会](#) [活動履歴](#) [会員ページ](#)

JAPAN UNIX SOCIETY SINCE
1983

[ABOUT JUS](#)

1983年設立
日本におけるUNIXや
OSSコミュニティの草分け

jus JAPAN UNIX SOCIETY NEWS LETTER
/etc/wall

1999 vol.4

jusの会報

主に活動報告を掲載

jus幹事が編集

設立当初から現在に至るまで継続

試合に至る経緯

- 昔の/etc/wallは紙媒体 (現在はPDF)
- jus事務局に眠る古文書の電子化を推進中
- 作業中に/etc/wallが全巻発掘され電子化
- /etc/wallに書かれた活動記録を紹介することで、
当時のUNIX業界やIT業界の状況を伝えたい
- 35年分を一度に紹介するのは無理なので、
各回ごとに5年ぐらいの範囲を設けて紹介

おことわり

- 今日の内容は当時のIT業界のごく一部
 - jusの活動記録から見た当時の状況説明
 - jusの活動範囲外の出来事は載っていない
 - 時間の関係で割愛する話題も多い
- NGワード
 - (俺の思い出の)あの出来事が載っていない
 - なつかしい

平成生まれのための

UNIX&IT歴史講座

当時のことを知らない
人たちのための
UNIX&IT歴史講座

昭和生まれの皆さんへ

私も知らないことが
たくさん出てくるので、
昭和生まれの皆さんに質問したり
証言をお願いすることがあります。
わかる範囲でご協力ください。

今回の対象時期

1990年代前半

1990-1994年の
/etc/wallから紹介

第 16 回

UNIX シンポジウム報告

坂本 文

YDC

1990年11月15～16日の2日間、大阪 桜ノ宮のリバーサイドホテルで、第16回 **jus UNIX** シンポジウムが開催され、テクニカルセッション、併設展示会、情報交換パーティ、BOFなどがおこなわれました。展示会には、出版物の展示も含め23社からの出展がありました。ここではテクニカルセッションとその裏でおこなわれたBOFについて報告します。

シンポジウム

- UNIXに関するカンファレンス
- jus創立時から毎年2回開催
 - 夏は東京、秋は大阪
- 主な内容
 - テクニカルセッション
 - 併設展示会
 - 情報交換パーティー
 - BOF

阪大 Night Workers

シンポジウムの報告の最後に、是非とも記しておきたいことがあります。それは、ボランティアをしてくれた学生さんたちの大活躍ぶりです。今回は、電気通信大学、長野大学、大阪大学からたくさんの学生さんがシンポジウムの

ところで、大阪シンポジウムではスタッフルームにマックintoshを持ち込み、[/jus/Osaka/ReadMe](#) という新聞を発行しました。この編集局は“[jus 関西出版局](#)”と呼び、編集者は“阪大 Night Workers”のみなさんです。今回は、全部で7号の新聞が作成されました。1日目は1号

/ jus / Osaka / README

第16回UNIXシンポジウム

No.18 Nov.10 1989

1990年11月15,16日

於大阪リバーサイドホテル

JUS関西出版局

阪大NightWorkers

16th Sympo. 1990 No.6 (通算 25号)

Nov.16 01:45am

ネットワーク管理BOF報告

JUS大阪初日の14:30から、ネットワーク管理BOFが開かれました。

雰囲気やうまく伝えられないとは思いますが、BOFの内容をお知らせしてみようと思います。2日前には、JUS主催 "Network Services Workshop (NSW)" が開かれたこともありNSWのゲストとして招かれた、Quaterman / Smoot氏も飛び入りで参加していただき大変盛り上がったものとなりました。

最初に、ネットワーク管理者の仕事として

Promotion: ネットワークを活用してもらうためのプロモーション

Administration: 一般的なハード/ソフトの管理

Management: Administrationと違うのは、人の問題が絡んだ問題を扱う点

Education: いかに使え人間を育てるか?

の4つの仕事がある! との話があり、いかにこれらの仕事をうまくこなしてゆくか? との話になりました。

そしてもっとも深刻な問題は、人の問題、そしてnetworkingにおける政治の問題であろうとの事で、ではスタッフを育てゆくためには? との話になり

(1) 自由になる環境を与え、好きな事をやらせながら育ててゆく

(2) Mailコミュニケーションを使わなければ、何もできない環境にしてしまいその中からできそうな人間をピックアップしてゆく

等の方法が紹介されました

- (A) (1) Network をセキュリティレベルに分けて、物理的に分離する。
(2) 分離されたネットワークが相互に接続されているマシンを機能を落としてでも、守り抜く
(3) 専用のGateway を設置し、IP forward を落としてしまう
(4) パスワード管理をしっかり行う。
等の答がよせられました。

(Q) 1万人のユーザーを管理するには?

(A) 現在のUNIXでは、login 名は8byteまでであり、login 名のconflictをうまく避ける方法はない。mailのアドレス等に、sub domainを導入する。又は、セキュリティ的にはUIDが重要である。

等の答えがありました。

UNIX Fair '90 開催!

今年もUNIX Fairが新宿NSビルで、12月4、5日の2日間にわたって行われます。1986年から始められたこのフェアも今回で第6回目を迎えることとなりました。

このフェアは回を重ねるごとに注目を集めてまいりましたが、今回は「ますます発展するUNIXテクノロジーとビジネス」をテーマに、UNIXに関する最新情報を提供したいと思っております。

UNIX関連技術、ビジネス、アプリケーションなどに感心をお持ちの方にとって、有意義なイベントとなると確信しております。

今回は前回に比べて、展示会場のネットワーク構成を大幅に変更し、下記のような構成としました。このように、

第 17 回

UNIX シンポジウム報告

坂本 文

YDC

1991年7月10日(水)~11日(木)の2日間、東京虎ノ門パストラルで、第17回 **jus UNIX** シンポジウムが開催されました。7つのテクニカル・セッションと展示会、そして「JUNET へつなぎたい人へ」「日本のアカデミック・ネットワークの展望」などのBOFがおこなわれました。ここでは、これらの様子を報告します。なお、テクニ

BOF – JUNET につなぎたい人へ

レポーター：砂原秀樹（電通大）

JUNET の構築が始まってすでに 6 年半、500 サイト以上が接続されるようになった。jus は JUNET の 1 サイトにすぎないのだが、事務局には JUNET に関する問合せが多く、まだまだ JUNET への接続を希望するサイトが多いということから、この BOF を企画するにいたった。

JUNET = 日本のインターネットの前身
商用インターネットはまだない

このほか、BOFでは「JUNETとは何か?」という再確認を大阪大学の齊藤明紀氏におこなってもらったり、JUNETに参加するために必要な機材(ディスク容量やモデムなど)、ソフトウェアと入手方法などについての情報提供がおこなわれた。

このあと、情報交換パーティで接続先を探すトライアルをおこなってみようという提案がなされ、接続を「受け入れられる組織」と「受け入れられる組織を紹介できる人」の自己紹介をおこない、BOFの後の情報交換パーティで「お見合い」を実施することとなった。

UNIX Fair '91 報告

Making of UNIX Fair '91

徳川義崇 坂本文

DIT YDC

1991年12月3日4日の2日間、東京・新宿NSビル地下イベントホールでUNIX Fair '91を、併設セミナーを新宿・京王プラザホテルで開催しました。出展社数68社、入場者数のべ28,000人、開催したセミナー数21(含むオープンシステム・セッション、基調講演、特別講演)など、6回の歴史のなかで最大規模のUNIX Fairとなりました。

UNIX Fair

- UNIX関連機器やソフトウェアの展示会
- 1986年から1995年まで年1回開催
 - 初期は東京(NSビルなど)、後年はパシフィコ横浜
- 主な内容
 - 出展各社による展示
 - ネットワーク接続実験
 - 併設セミナー
 - 情報交換パーティー

ネットワーク接続実験

UNIX Fair では毎年会場内にネットワークを敷設し、出展社に相互接続実験をおこなう環境を提供しています。1986 年に開催された第 1 回 UNIX Fair の会場には、Class C のアドレスを割り当てた長い Ethernet ケーブルが 1 本あったただけでした。それ以来ブリッジの導入や IP

当時は各社がUNIXマシンを開発/販売

OSも各社で開発(=実装が異なる)

UNIX Fairが相互接続性検証の場となる

後のInteropに受け継がれる

UNIX Fair '92

ネットワーク接続実験の特徴

- 大規模なサブネット導入によるトラブルの局所化
- 光ケーブルを用いたFDDIに加えてCDDIも導入
- 会場内に4つのルータタワーを設置
- 10Base5から10Base2、10BaseTへ
- デモNOCの設置
- トラブルネットワークの設置
- OSIへの挑戦
- Xサーバの相互接続性実験

jus 関西 活動報告

高野 豊

松下電器産業 (株)

ひさびさの jus 関西活動報告です。昨年一時中断した「UNIX 研究会」も秋には再開でき、以来 4 回の研究会を開催してすっかり以前のペースに戻っています。最近の活動の場所は、/etc/wall の No.7 でお知らせしたように、(財)千里国際情報事業財団のご協力を得、下記の場所でおこなっています。開催日は原則として偶数月の水曜日 14

jus関西UNIX研究会

- 現代のIT勉強会みたいなもの
- 1984年から2006年まで開催
- 偶数月の水曜午後に大阪で開催
- 60分 × 3セッション + 第4セッション
- 齊藤明紀、法林浩之など多くの選手を輩出
- 現在のjus研究会全国ツアーはこれの後継

第 32 回 1990 年 6 月 20 日 (水)14:00-17:00

1 UNIX I/O システム概観 — デバイスドライバと UNIX

大阪大学基礎工学部 齊藤明紀

2 インターネットプロトコルでのルーティング

大阪大学基礎工学部 山口 英

3 最近の UNIX とそれを取り巻く環境 jus 副会長 坂本文

依然として大阪大学の齋藤さんのシリーズが続いています。毎回有益な発表を準備してくださる齋藤さんには頭の下がる思いがします。今後の開催予定は、次のとおりです。

齋藤さんは1988年から2006年まで
連続登板記録を樹立

第 95 回 jus 関西 UNIX 研究会

次の研究会を下記要領で行います。なお、参加申し込みは、当日会場で先着順となりますので、近隣の UNIX ユーザーの方々ともお誘い合わせの上お越し下さい。タイトルに関しましては、決まり次第ホームページでお知らせいたします。

◇◆プログラム◇◆

発表:

- 1.大阪大学 基礎工学部 齊藤 明紀
- 2.(株)アステック・プロダクツ 坂下 秀
- 3.大阪市立大学 学術情報総合センター 中野 秀男
- 4.フリーディスカッション

さていつも第 4 セッションとしてご案内している“フリーディスカッション”の内容ですが、これは通常場所を変え会費も別に徴収してアルコール燃料などを補給しながらのセッションとなります。研究会の会場が大阪の北梅田のド真中にそびえたつ阪急グランドビルですから、そういったセッションをおこなうには絶好の立地条件であるといえるでしょう :-) 研究会の最終セッションが終り、夕闇がせまって街に夜の活気が訪れるころ、研究会の興奮をそのままに第 4 セッションになだれこみます。研究会はや

関西研究会の発表から

UNIX 探偵団

調査依頼その 1

木津隆史 プロフェッショナル研究室柏原組

本稿は、1993 年 4 月 28 日に開催された第 49 回 jus 関西研究会の第 3 セッションをまとめたものです。このセッションでは jus 関西初の試みとして、“UNIX 探偵団”という企画にもとづく発表がおこなわれました。これは『探偵ナイトスクープ』というテレビ番組をモデルにしたものです。『探偵ナイトスクープ』をご存じない方のた

今回の UNIX 探偵団では、神余浩夫 (三菱電機) 探偵局長以下 3 名の探偵に加え、顧問に熊谷典大氏 (シャープ) を据え、秘書 (脇川@住信基礎研) まで用意する念の入れようでした。第 1 回の調査内容は、「あんた、それなんて読むんや ?? — UNIX 用語の読み方調査 —」、探偵は法林浩之氏 (ソニー) です。

調査依頼の手紙

さて今日は、あるコマンドの呼び方について調べていただきたく、お便りしました。関西出身の私は `chown`、`chmod`、`awk` をいつも「ちょうん、ちえんじもっど、おーく」と読んでいました。つい先日関東に転勤になりました

が、周りの人は「おーく」を「えーだぶりゅーけー」と発音しています。そこで、「おーく」と「えーだぶりゅーけー」との境が日本国内のどこにあるかを探していただきたいのです。これをきちんと調べたあかつきには、あの偉大な『アホバカ分布図』をも上回る大成果を挙げることは間違いありません。どうかよろしくお願いします。

調査結果は法林のウェブサイトにあります

<https://www.suplex.gr.jp/~hourin/juskansai199304/>

第1回 jus 東海研究会報告

吉田茂樹

東京大学

前号の/etc/wall で報告されているように、jus 関西研究会に次いで、jus 東海研究会が発足し、1991年9月10日に第1回の研究会が開催されました。ここでは、大盛況だったこの研究会について報告します。

東海(名古屋)でも隔月で研究会開始
2セッション+第3セッション

第2回 jus 東海研究会報告

研究会参加者有志一同

11月12日(火)に第2回東海研究会が開催されました。参加者は84名。第1回の約半分になってしまいましたが、この程度の参加者数を継続していけるよう、関係者一同気持ちをあらたにはりきっています。さて、ここでは各セッションの報告をお届けしましょう。レポーターは、久松住子さん(豊橋技術科学大学)、金子勉さん(三菱自動車エンジニアリング)、加藤やえ子さん(アクシス)の皆さんです。

セッション 1 — みんなが幸せになるために

2001 年のワークステーション像

発表者：電気通信大学 砂原秀樹氏

10年後の2001年までに何をしておきたいかという観点から、計算機利用環境に関わる歴史と、今後の技術動向の展望が発表されました。

1968年以前を有史以前、1969年にUNIXがベル研究所で誕生して以来2000年まで、2001年以後の3つに分けて、計算機利用環境/計算機の性能/処理するデータ/ネットワーク/入出力や印刷出力の変遷が、イメージを描いた絵を加えて解説されました。示されたイメージの絵は、次

また砂原氏は、将来の計算機像を次のように想像しておられるそうです。

- 楽屋裏に巨大なファイルサーバーが置かれ、高い計算能力とバージョンアップやメンテナンスのサービスを提供しており、その集合体はどの計算機を使っているかをユーザーに意識させない。
- 目的に応じて 1 人で数台のスーパーコンピュータや専用マシンを使い、その性能は CPU 数十 GIPS、数 GFLOPS、主記憶 数 Gbyte、ディスク 数百 Gbyte を専有できる。
- 処理速度が速ければすべてがすむわけではない。家のなかでは、家庭生活に必要な機器がホーム・ネットワークを構成する。個人はポケットに計算機を入れて持ち運び、ワイヤレス接続で画像入力、音声入力などの簡単なユーザーインターフェイスでネットワークや計算機を使うようになる。

jus フリーソフトウェア配布 サービスについて

吉田茂樹

CSK

背景

/etc/wall No.10のアンケート集計結果を見ると、jusの活動として期待する項目として“フリーソフトウェアのテープ配布”がそのトップに挙がっています。一般にフリーソフトウェアはネットワークを通じて配布されたり、知

jus では以前から会員サービスの一環としてテープによるソフトウェアの配布をおこなってきました。これまでに、X Window System Version 11 Release 3 および Release 4、GNU Projects の各ソフトウェアを配布しました。しかし、UNIX 上で動作するフリーソフトウェアには、X Window System や GNU 以外にもさまざまなものがあります。

今回は会員の要望に対してより充実した形で応えるという意味から、多くの UNIX ユーザが愛用している、各種の UNIX 用フリーソフトウェアの配布をおこないます。

当時はインターネットが普及しておらず
回線も細かったので
オフラインでソフトウェアを配布していた

X11R5 の配布状況

すでにお知らせしたように、X11R5 のテープまたは CD-ROM による配布を開始しています。CD-ROM による配布ははじめての試みであり、CD-ROM ドライブの普及率も把握できなかつたので、若干の不安を抱きながら発注しました。しかし、ドライブは私たちの予想より普及しているようで、この原稿を書いている 11 月 20 日現在、約 250 枚が配布されました。

当初は 1/4 インチテープで配布
1991 年から CD-ROM で配布
DVD はまだ存在しない

ソフトウェア配布サービスのお知らせ

日本 UNIX ユーザ会では、会員サービスの一環としてソフトウェアの配布をおこなっています。今年度は、「フリーソフトウェア '93」と題して、昨年配布した「フリーソフトウェア '92」をさらに便利に利用するための周辺フリーソフトウェア集を配布します。配布は CD-ROM でおこない、下記のソフトウェアを含みます。

- GNU Emacs lisp プログラム集 (GNU Emacs 上で動作する便利な Emacs Lisp プログラム集)

- T_EX 周辺プログラム/ファイル集 (T_EX3.X と スタイルファイル、フォント、プリンタドライバ、プレビューアなど)
- Perl スクリプト集 (Perl 言語で書かれた各種の便利なスクリプト集)
- 最新 GNU ソフトウェア一式 (GNU Emacs、gcc、bash、ghostscript、groff などの最新版)
- 最新 X11R5 用 contrib プログラム集 (X11R5 用の contrib プログラムの最新版)
- 最新 UNIX/MS-DOS フリーソフトウェア集 (UNIX 用、MS-DOS 用の各種プログラム集)
- Linux (80386/80486 パソコン用の UNIX に似たフリーな OS)

1993年に初めてLinuxを配布

第 21 回 UNIX シンポジウム報告

7月28日～30日の3日間、東京港区のコクヨホールで、第21回UNIXシンポジウム(29～30日)と併設セミナー(28日)を開催しました。

併設展示会がおこなわれなかったせいか、やや静かな雰囲気でしたが、シンポジウム会場では250名の方が熱心に発表を聞いておられました。また、セミナーは2コースとも申込みが定員を上回り、参加をお断りしなければならない状態でした。以下、それぞれの様子を報告します。な

1993年の東京シンポジウム

パネルディスカッション

コーディネータ：宮川 晋 (東京工業大学)

- パーソナル UNIX — 386BSD、BSD/386、MACH、Linux、etc. :

パネリスト：徳川義崇 (ディアイティ)

古場正行 (日立ソフトウェアエンジニアリング)

谷口 崇 (電気通信大学)

米田真治 (大阪大学)

このパネルディスカッションでは、数多く存在する PC-UNIX から、すでに広く使われ、かつ本格的な利用に堪え、また個人が利用する際に便利なソースコード付きのものとして、386BSD、BSD/386、MACH、Linux を取り上げた。まずコーディネータから、386 以上の CPU

初めてPC-UNIXのセッションが組まれる

関西研究会の発表から

UNIX 探偵団

調査依頼その 2

木津隆史 プロフェッショナル研究室柏原組

本稿は、1993 年 4 月 28 日に開催された第 49 回 jus 関西研究会の第 3 セッションをまとめたものです。そのうち、前号 (/etc/wall Autumn 1993) では、“UNIX 用語の読み方調査”を掲載しました。今回は、“格安 UNIX の構成”です。探偵は武藤武士氏 (神戸大学) です。調査は

調査依頼の手紙

私は root になって 1 年の新米です。これから UNIX 修行に励むために、自宅に UNIX マシンを置きたいと思います。最低限使える UNIX は、いくらぐらいで構成できるのでしょうか？ 貧乏人の私のために、ぜひ調査をお願いします。

ワークステーション屋さんに聞いてみました

依頼者は 200,000 円ならば出せるということなので、200,000 円で構成できる UNIX システムについて調べま

名称	ベースシステム	価格 (単位:ドル)
386BSD 系 1. 386bsd 0.1 + patchkit 0.2.4 2. FreeBSD 1.0 Epsilon 3. NetBSD 0.9 4. 386bsd 0.2	NET/2	フリー フリー フリー CD-ROM で安く購入可能
Linux 0.99pl.9	SVR3.2	フリー
MINIX 1.5	V7	169
COHERENT 4.0	?	99.95

表 2: IBM PC 互換機用 UNIX

名称	ベースシステム	価格 (円)	備考
386BSD(98)	NET/2(PC 用 386BSD)	フリー	
MINIX	V7	14,800	
PANIX	SVR4	48,000	X11R5 が動くが Network kit は別売

表 3: PC-9801 用 UNIX

第 22 回 UNIX シンポジウム報告

11月4日(木)~5日(金)の2日間、大阪・千里中央の千里ライフサイエンスセンターで第22回 jus UNIX シンポジウムが開催されました。今回のプログラムは、通常おこなわれている論文発表のほかに、地域ネットワークや商用ネットワークをテーマにしたパネル・ディスカッション、製薬会社や新設大学における UNIX の導入事例紹介

1993年の大阪シンポジウム

パネルディスカッション

司会：中野秀男（大阪大学）

- 地域ネットワークと商用ネットワーク：浅羽登志也 (IIJ)、松本敏文 (Spin)、北田義孝 (NORTH)、樋地正浩 (TiA)、榊原智之 (TRENDY)、西武 進 (CSI)、中山 仁 (KARRN)

2つの商用ネットワークと6つの地域ネットワークからパネラーを迎え、討論した。前半は、IIJとSpinの2つの商用ネットワークのパネラーが、それぞれ配布されたレジュメをもとに10分程度のプレゼンテーションをおこなった。これに対し、会場からは、健全な日本版

この頃から商用インターネットが始まる

USENIX'89 Summer レポート

砂原 秀樹

電気通信大学

1989年夏の USENIX Technical Conference は、6月12日から16日まで、ワシントンの北にあるボルチモア市の **Baltimore Convention Center** で開催されました。はじめの2日間にチュートリアルが、後の3日間で Technical Conference と展示会がおこなわれました。

この頃の /etc/wall は
海外カンファレンスのレポートが多い

PortSoft

国際 ワークショップ

小暮博道 USLP

経緯

今年 (90年)2月頃、韓国のヒューマン・コンピュータ社 (HCI) のチュン博士 (Chul Chung) から一部の jus 幹事宛に、日本、韓国、中国などを中心にして、国際化されたアプリケーション・ソフトウェアを作るために必要な要件および情報の交換を目的としたワークショップを開催しませんか、という呼びかけがありました。以前から複数バイ

テーマは国際化や標準化など

USENIX/UniForum 報告

ダラスの熱い、1週間

坂本文

YDC

さて、ダラスでは 1991 年 1 月の第 3 週目に UNIX に関連するイベントが 2 つおこなわれました。1 つは USENIX Association 主催のコンファレンス USENIX、そしてもう 1 つが UniForum 主催の UniForum です。ダラスには、

Perl の本 etc.

会場のホテルでは、O'Reilly Associates がスイートルームを使った販売をおこなっていました。メインは、“Nutshell Handbook” の新刊、

- MH & xmh

- Perl

の販売で、本を買うと Perl や MH の T シャツがもらえるうえ、執筆者がその場でサインをしてくれます。こんなチャンスにめぐりあえるのも USENIX に参加する楽しみの 1 つです。Perl は、最近日本でもはやりつつあるテキスト処理用言語です。jus でも UNIX Fair '90 で Perl のセミナーを開きましたし、フリーソフトウェアのテープ配

Perlが最新のプログラミング言語
Ruby, Python, PHP, JavaScriptなどは
まだ存在しない

1990年代前半のまとめ(1)

UNIX は、すっかり商用 OS として定着した感があります。USENIX の BOF で 4.4BSD について熱く議論するたった数十人の汚らしい格好の技術者たちと UniForum の展示会場に押し寄せるスーツの人波、この対照的な光景を目の当たりにしたとき、次なる技術を探っていくべき時期が本当に到来したのだということを実感させられました。

USENIX/UniForum '91 報告より

1990年代前半のまとめ(2)

- jusの最盛期
 - 会員数もこの頃が最大 (2000人超)
 - 活動内容がアホみたいにおもしろい
- UNIXが商用OSとして定着
- インターネットへの接続が大きな関心事
 - 商用インターネットのサービス開始
- PC-UNIXの黎明期
- UNIXの国際化や標準化活動がさかんに行われる

今後の予定

11/22(木) ssmjp@東京
1990年代後半編

12/8(土) OSC福岡
2000年代前半編

その後も各地で開催予定

ありがとうございました



このあとステージでサイン会！